

合唱団ホームページアドレス <http://www.wiengifu.org>

音楽とは 横への感性なり！

7

月号

2019年7月1日
編集・発行/
ウィーン岐阜合唱団

岐阜の街ウィーンの如く 音楽し 作:音楽総監督 平光 保

「水はいのち」合宿を終えて

副団長 見田村 勝信

5月とはいえ時ならぬ暑さに見舞われた日本列島、しかしそこは別天地、緑に包まれた山間に静かにたたずむ「コージュ高鷲」。今年も5月25日、26日と夏の定期演奏会に向けての合宿が行われました。1日だけの参加者も含め総勢70余名。

初日は、午後2時から、新田さんの指導でラジオ体操第一から始まりました。そして伴先生の発声練習。続いて、平光先生と伴先生の二人体制で、菅原先生のピアノに合わせて、ラシーヌの雅歌の練習に。最初から、「遅れないで!」、「指揮をみて!」、「下がってる……!!!!」、「腹筋でささえてえー……!!」。「隣のパートを聴いて!!」矢継ぎ早に厳しい指示が飛びました。2時間半の練習も緊張の中にあつという間に終わり夜の部へ。

練習を終えると4時半からは1時間の休憩。早速温泉へ。天然温泉の露天風呂で、まだ明るい中で、緑に包まれて汗を流すのは最高です。5時半からは恒例の先生方のコンサート。続いて食事兼大宴会のスタートです。食事兼宴会はさらに場所を変え、二次会、三次会と続けました。愛唱歌を歌ったり、だべったりと大変賑やかな時間が過ぎました。日頃は練習だけで、お互い言葉を交わすことは少ないのですが、この日ばかりは無礼講。大いに盛り上がりました。

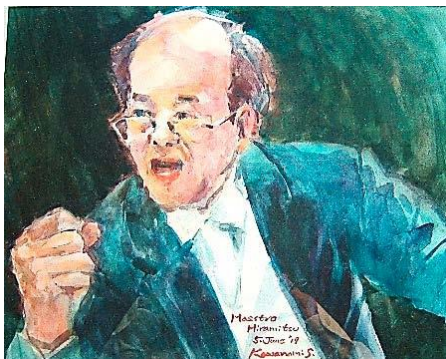
2日目は前夜の酒の余韻に浸りながらも、

早速9時から練習に入りました。昨日と同様、ラジオ体操第一から始まり、まるで小学校の林間学校のような雰囲気でした。

早速「水はいのち」の練習が始まりました。午前は9時から12時まで、午後は1時から4時まで、緊張と充実した練習が続きました。4時から合宿の総仕上げ、通し練習が。通し練習の後には、平光先生から、当初から比べると格段の進歩で練習の成果があり、「素晴らしい!」とお褒めの言葉がありました。皆思わず歓声!。

冒頭の団長の挨拶にもありましたように、合宿の目的は大きく分けて2つ。①曲想を作り上げる。②合宿の中でコミュニケーションを図る、ということにあります。この2日間の合宿は、その効果を十分発揮できたのではないかと思います。今回は田中さん、新田さん、山田さんの女性トリオが実行委員。大変お疲れさまでした。

私にとっては2回目の「水はいのち」。1964年に高田三郎先生によって作られたこの曲は古典といってもいいほどいろいろなところで歌われています。何度歌っても難しい曲ですが、今回遠路練習に参加していただいた松本先生のお話によれば、高田先生の言葉として「水はいのち」の一音一音どの一つをとっても意味がある、と語っておられました。



平光先生の気迫の指揮風景
(川浪 進 画伯作)

ウィーン岐阜合唱団に 出会えて感謝

大垣支部 バルトン

岡田 富雄

この合唱団に入れていただいて2年半が経過しようとしています。それまでの私の人生には合唱との縁は全くなく、今の活動の姿は以前には思いも及ばなかったことでしょう。今では週1回、岐阜を合わせれば週2回の練習、定期演奏会、その他の盛り沢山の行事があって、合唱は生活の中にしっかりと定着し、出来はさておき、立派な趣味といえるのではないのでしょうか。また、入団がなければ人生の中で出会うことがなかった新しい人たちとの出会いも広がりました。ウィーン岐阜合唱団との出会いに心から感謝しています。

もちろん、出会いの中で価値ある一番は合唱です。入団のきっかけは「ベートーヴェンの第九合唱」でしたが、去年の「ぞう列車がやってきた」、今年の「水のいのち」は歌詞が日本語のために詩情を理解しやすく、その分詩情を合唱で表現する難しさを感じています。特に今年の「水のいのち」は私のような凡人には思いもよらない歌詞の連続で、自然をとらえる視点の違いに感動しています。この詩情が歌で表現できればどんなに素晴らしいことか、聴いていただくお客様にこの感動をお届けできればどんなに幸せなことか、と思うのですがそれができない

のが現実の悲しさです。

歌詞にはピアノやフォルテの記号、クレッシェンド、デクレッシェンド、その他数々の音楽記号が添えられていて（まだ私には理解できない専門用語がたくさんあるのですが）、それらが詩情を表現するのに大切なのでしょう。詩情を歌い上げるために平光先生はその部分を「ピアノで」「前に行く」「おさめる」などの言葉で強く注意されるのですが、私にとっては音を合わせるのに精一杯でなかなか先生の注文に応えることができない自分に歯がゆさを感じています。でも、チケットを買って来られるお客様のことを考えたらそれは通用しないことなのでしょう。

結局は練習不足がすべてで、本番までには少しでも平光先生の求められる「水のいのち」に近づけることができるように頑張ります。

ちょうど時期は梅雨時で、雨が多い季節ですが、「水のいのち」の歌詞を思いながら降る雨や景色を見ると、今までとは違った梅雨空の景色が見えてきました。

さあ、本番まであと僅か一ヶ月！！

感動で始まり感動で終わった合宿

岐阜本部 アルト 杉本 八重子

今年の1月に入団させていただき、日頃の自己練習も不十分なまま、週1回の練習に参加しております。今回、合宿のお話があり参加するか否か悩みましたが、本番で皆さんの足を引っ張ることのないように、少しでも練習時間がもてればと思ひ合宿に参加させていただきました。

練習環境はとても素晴らしく、緑の山に囲まれ、その間を高速道路が聳え立ち、青い空をバックに最高の景色を目にして、とても幸せな気分になりました。また、練習会場は天井が高くゆったりとした空間で、素晴らしいグランドピアノが置かれ、そのもとで各先生にご指導いただき練習ができる、なんとリッチな環境なのだろうかとびっくり、練習前から「来て良かった!」と感動していました。

合宿初日の特訓後には、お忙しい先生方が準備してくださった素晴らしいコンサートを聴くことができ、先生方のお人柄を感じながら貴重な時間を過ごすことができました。そして、その後の会食では、テーブルにアルトのメンバーが集まり、自己紹介する中、ウィーン岐阜合唱団に入団した個々の経緯や思いを語り合いました。自身の闘病後の健康管理のために家族に見守られながら始めた方や県外から時間を作って練習に通われる方、子育てを終え歌が好きで始められた方など、どなたのお話しにも感動を覚えました。そして、お話を

しを聴きながら自身の入団動機を振り返り、頑張らなくてはという思いが湧いてきました。

その後の二次会では懐かしい曲を歌い続け、楽しく過ごさせていただきました。何もお手伝いすることなくご馳走になりましたが、準備いただいた団員・スタッフのみなさんに感謝申し上げます。

ありがとうございました。

翌朝、同室の方々と散歩に行き、宿泊施設の側を流れる鷺見川を探索しました。ずっと川の流れを覗いていると「水のいのち」の「川」の詩が浮かんできました。みんなで“何故さかのぼれないか、低い方へゆくほかはないか、くるめく渦のいらだち、こがれるいのち”を覗いて、「水のいのち」の深さを感じて2日目の練習に望むことができました。

練習課題と練習環境が一体化していることに感動しました。また、新入団員として発声練習の時間を設けていただき、口の開き方から声と姿勢のあり方について、分かり易くご指導いただきました。自身の未熟さと甘さを痛感する機会となりましたが、終了後に先輩方から「どうだった?」と声をかけていただき、その気遣いに感謝するとともに新たな課題にチャレンジできることを喜びとし、前向きに頑張っていきたいと思います。

2日間の感動をありがとうございました。



早朝特訓



楽しい談笑会もあった

7～9 月練習予定

練習時間は 18:45～20:45 です(18:30 までに集合しましょう)

月 日	岐 阜	月 日	大 垣
7 月 4 日 (木)	長森コミュニティセンター	7 月 5 日 (金)	大垣市南地区センター
7 月 11 日 (木)	長森コミュニティセンター	7 月 12 日 (金)	大垣市南地区センター
7 月 15 日 (祭)	岐阜・大垣強化練習 長森コミュニティセンター14:00～17:00		
7 月 18 日 (木)	長森コミュニティセンター	7 月 19 日 (金)	大垣市南地区センター
7 月 21 日 (日)	岐阜・大垣強化練習 長森コミュニティセンター14:00～17:00		
7 月 25 日 (木)	大垣市北地区センター 18:30～20:00 (オケ合わせ)		
7 月 27 日 (土)	岐阜・大垣強化練習 長森コミュニティセンター13:00～15:30(最終確認) (時間が変更になりました)		
7 月 28 日 (日)	ウィーン岐阜合唱団 定期演奏会本番於:岐阜市民会館 大ホール 14:00 開演		
8 月 8 日 (木)	長森コミュニティセンター	8 月 9 日 (金)	大垣市南地区センター
8 月 15 日 (木)	盆休暇のため岐阜休み	8 月 16 日 (金)	大垣市南地区センター
8 月 22 日 (木)	長森コミュニティセンター	8 月 23 日 (金)	大垣市南地区センター
8 月 29 日 (木)	長森コミュニティセンター	8 月 30 日 (金)	大垣市南地区センター
9 月 5 日 (木)	長森コミュニティセンター	9 月 6 日 (金)	大垣市南地区センター
9 月 12 日 (木)	長森コミュニティセンター	9 月 13 日 (金)	大垣市南地区センター
9 月 19 日 (木)	長森コミュニティセンター	9 月 20 日 (金)	大垣市南地区センター
9 月 26 日 (木)	長森コミュニティセンター	9 月 27 日 (金)	大垣市南地区センター

音楽家の名言 (ショパン・プッチーニ)

●音楽会、晩餐会、夜会、舞踏会など、うんざりしてしまう。

すべてが憂鬱で悲しくて、そして無気力なのだ。洋服を整え、靴をはいてサロンでは平静をよそおっているが、家に帰るとピアノで荒れ狂うのだ。…………… ショパン

他人とのコミュニケーションが苦手であったショパン。しかも、二度目に訪れたウィーンでは、前回の歓迎ぶりが嘘のように、悶々たる日々を送っていた。ショパンは、ポーランドを代表する作曲家。“ピアノ”の詩人にふさわしい詩的で繊細な中にも祖国愛に満ちた音楽を多く奏でた。



●われには友もなく、孤独。音楽もまた我を悲しませむ。

●「蝶々夫人」は失敗、しかし、私の芸術家としての心は安泰。…………… プッチーニ

ラフマニノフのように初演が失敗したことで再起不能の危機まで陥った作曲家もいれば、プッチーニのようにその失敗を糧にして成功を手に入れた作曲家もいます。

プッチーニがこのオペラを作曲していた時期は、家庭内不和や自動車事故、おまけに糖尿病が見つかるなど、苦難の時期でもありましたが、それにもめげることなく作曲を続け、1904 年 2 月 17 日に「蝶々夫人」はミラノのスカラ座で初演を迎えます。しかし、初演は失敗。それでも作品に自信を持っていた彼が「安心しろ」という意味で親戚へ宛てた電報が、前述の名言です。初演の失敗は、このオペラが異国の趣味にすぐには受け入れられなかったからだともいわれますが、どちらかといえば作品に対する非難というよりもプッチーニの奔放な私生活が災いしたとされています。プッチーニはいったんこのオペラを引き上げて改訂し、今度は地方都市で上演し、大成功を収めます。その勢いでロンドン、パリと改訂を加えながら、国外で成功を勝ち取り、評価を高めていきました。

自己に対する絶対的な自信と信頼を持ち続けながらも、冷静に事態を把握し認識できたことが、プッチーニの勝利に繋がったことは間違いないでしょう。